

●社会教育

今年度からスタートする『第五次社会教育中期計画』に基づき、各種事業や施策を展開していきます。

また、市民意識の醸成とふるさとに対する愛着や誇りを高めることを目的に、郷土資料館や市立図書館、登別市文化・スポーツ振興財団などのネットワーク化を図り、登別の自然や暮らし、歴史や文化、産業などを学ぶ『ふるさと学（登別地域学）』を構築していきます。

●家庭教育

家庭や地域の教育力の向上を図るため、引き続き、家庭教育学級における講演会などの学習活動や、『通学合宿』、『放課後子ども教室』、『家族の時間づくりプロジェクト』の取り組みを進めていきます。



▲共同生活を行って協調性や責任感を育む『通学合宿』

また、昨年度、『学校支援地域本部事業』が文部科学大臣表彰を受けたことは、子どもたちに豊かな学びの場を提供してきた活動が高く評価されたものですので、活動のさらなる充実を図られるよう、実行委員会と連携を深めていきます。

●青少年の健全育成

青少年センターを中心に、登別市子ども会育成連絡協議会や社会教育関係団体、地域の方のご協力をいただき、街頭指導の強化、不審者情報に対応するメール配信体制の充実や、子どもたちを見守るパトロール活動の実施、子ども10番の家の拡充などに努め、非行の未然防止と良好な環境の確保に取り組んでいきます。

●文化・スポーツの振興

昨年度、民間団体による『雅楽』の公演など、質の高い文化に触れる体験の場を与えていただき、大きな成果を上げました。今年度は西いぶり定住自立圏合同文化事業を主管し『文楽』を鑑賞する機会を設けていきます。

また、当市には地域に残る郷土芸能や各種行事がありますので、児童生徒の積極的な活動と参加を奨励し、伝統文化の継承と、郷土を愛する心の育成に努めていきます。

また、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、子どもたちの夢を育むとともに、競技スポーツの振興を目的に、オリンピック（大会出場者）を招き、講演会や実技指導などの機会を設けていきます。



▲郷土資料館の企画展『お雛さま人形展』を見学する子どもたち

●学校給食

健康の保持増進と体位の向上を目的に、安全で安心な給食を提供するとともに、地場産品を取り入れ、地域の自然や産業などに対する理解を深めていきます。

●図書館

質の高い魅力ある図書館づくりを

目指して、市民ニーズに応じた図書資料の整備と、幅広い情報の提供や発信に努めるとともに、図書ボランティアとの連携によるブックスタート・ライブラリースタート事業や図書館講座などを通して、利用者の増加を図っていきます。



▲多様なニーズに応えるため、大活字本や雑誌などを充実させている『市立図書館アーニス分館』

教育委員会としましては、市長と教育委員会が教育の方向性を共有し、さまざまな教育課題の解決を図る場として設置された総合教育会話を通して、市長との連携をより深めながら、教育行政の推進に努めていきます。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。